

平成 26 年 10 月 31 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

“国際岩の力学学会 2014 年国際シンポジウム（10 月 14－16 日札幌開催）”で
論文賞と優秀展示賞「高剛性水圧破碎試験装置」

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 賢）は、2014 年 10 月 14-16 日に札幌で開催された「国際岩の力学学会 2014 年国際シンポジウム・第 8 回アジア岩の力学シンポジウム “ARMS8”」に参加いたしました。シンポジウムには 24 企業が展示、37 カ国から総勢 600 名以上が参加しました。その中で、当社は下記 2 件の表彰を受賞しましたのでお知らせいたします。

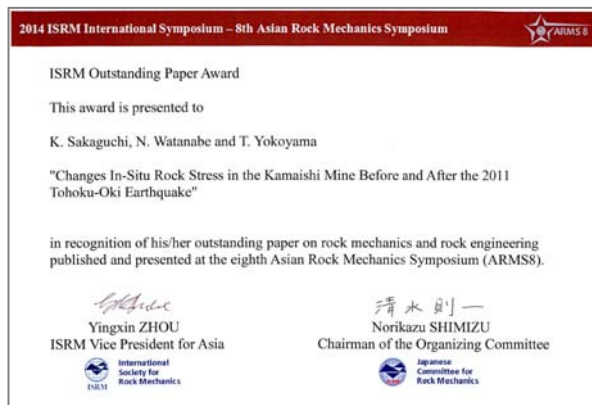


論文については、タイムリー性と、地震発生前後のデータが比較できるという希少性が評価されました。展示については新しい技術を取り入れたシステムの優位性をわかりやすく説明した、という点が評価されました。

- ★論文賞：Changes In-Situ Rock Stress in the Kamaishi Mine Before and After the 2011 Tohoku-Oki Earthquake（2011 年東北沖地震前後における釜石鉱山での原位置岩盤応力の変化、東北大学坂口准教授と当社エネルギー事業部横山技師長が共著）
- ★優秀展示賞：高剛性水圧破碎試験装置（OYO ブース）



優秀展示賞の賞状



論文賞の賞状



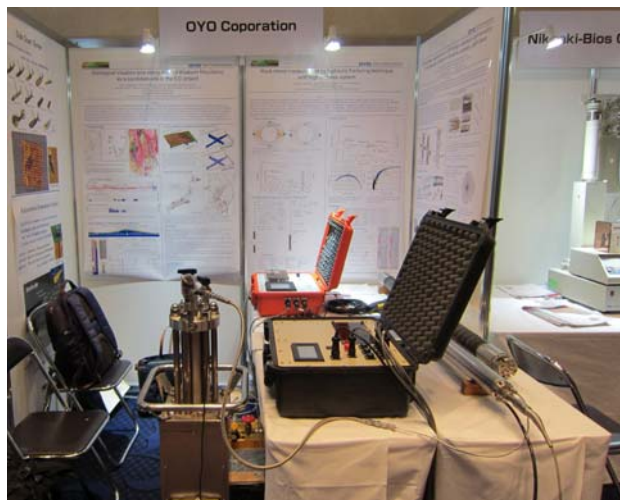
発表会場（メインホール）

高剛性水圧破碎試験装置とは？

高剛性水圧破碎試験装置とは、ボーリング孔を利用して、岩盤応力を測定する試験装置です。測定の仕組みを簡単に説明すると、高圧水の注入により孔内に人工き裂を生成し、そのき裂の開口圧と閉口圧とから岩盤応力の最大値と最小値を求める、というものです。

本測定装置は孔内への注水に、従来のプランジャーポンプに変えてシリンジポンプを新たに開発（特許申請予定）し、微小な注水量を正確に制御し計測することが可能となったため、測定したい岩盤応力のうち最大主応力の値を正確に評価することができるようになりました。

展示ブースでは、測定器本体と測定データを展示し、測定システムの新規性と優位性をわかりやすく説明したことが評価され、優秀展示賞を頂きました。海外を含む多くの研究者や技術者が興味を持ってブースを訪れ、「新たに導入したい」との声もありました。



OYO展示ブース「高剛性水圧破碎試験装置」がで

ISRM 国際シンポジウムについて

国際岩の力学学会 (International Society for Rock Mechanics: ISRM) の国際シンポジウムは、総裁、副総裁をはじめ、加盟 52 カ国代表者らが毎年一度集い、研究・技術発表に加え、理事会、各国代表者会議、各種国際技術委員会、ワークショップなども同時開催され、当該年の ISRM 最大規模の国際シンポジウムです。

今回の ARMS8 は、「地球規模諸課題への岩の力学の貢献—自然災害、環境、エネルギー問



題一」を主テーマとし、これらの諸課題に対して岩の力学は今後どのように取り組むかを検討するとともに、幅広い分野の最新の知識、技術、事例を結集し、日本・アジア・世界の交流を深め、岩の力学分野の新しい展開と活性化を目指しています。

一般社団法人 岩の力学連合会について

一般社団法人岩の力学連合会(Japanese Committee for Rock Mechanics: JCRM) は岩盤関係のトピックスに興味を持つ研究者が、岩の力学及び岩盤工学に関する内外の情報交換を行うとともに、日本を代表して国際岩の力学会 (International Society for Rock Mechanics: ISRM) に加盟し、岩の力学の国際的な振興と交流を図り、我が国および世界の岩の力学の発展に寄与することを目的としています。

現在、岩の力学連合会は土木学会、地盤工学会、資源・素材学会、日本材料学会の4学会が組織母体となって、個人会員、賛助会員から構成されています。平成 25 年 10 月末日現在、個人会員は約 400 名、賛助会員は 34 社となっています。事務局は、地盤工学会内に置かれています。(引用元：岩の力学連合会ポータルサイト <http://www.rocknet-japan.org/about/>)

以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 社長室 川地・津野

TEL : 03-5577-4501

E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp